



主体的・対話的で深い学び

新しい学習指導要領（国が定めた教育課程の基準）が今年度から本格実施となっています。道徳が「特別な教科」となったことや外国語科が5・6年生で新しく始まったことは、既にご存じだと思います。今回の改訂のキーワードは、「主体的・対話的で深い学び」です。本校の職員も授業の改善に向けて、子供たち一人一人が意欲的に考え、自分と異なる多様な友達の考えに触れながら、豊かに学び合う授業づくりを目指して取り組んでいます。

そのような中、子供たちの学びの姿勢や態度が大変向上しています。「学習に向かう態度」「聞く態度」「話す態度」「話し合う態度」について、全校挙げて取り組んでいる成果が出ています。普段の授業の中で、自分の思いや考えを意欲的に発表する姿や、友達の意見をしっかり聞いて考えを伝え合う学びの姿が見受けられます。

新型コロナウイルス感染症に対応している今、目の前の未知の状況や問題を解決するために、多様な考えや価値観を受け入れる柔軟な思考力を育成するために、「主体的・対話的で深い学び」の推進をしていきたいと考えます。

学校評価アンケートありがとうございました！



前期学校評価アンケート結果について、先日お知らせをさせていただいたところですが、全般的に学校の取り組みを温かく見守っていただき、感謝申し上げます。

課題もいくつか焦点化することができました。「確かな学力」については、子供たちにとって「楽しく分かる」「主体的・対話的で深い学び」に向けてさらに研修を重ねながら授業の改善を図っていきます。また、家庭学習の習慣、忘れ物をしないについては、ご家庭のご協力が必要です。お子様への声かけをお願いします。

「豊かな心」については、いじめをなくす取り組みとして、月1回の「きずなアンケート」の活用や、全職員がアンテナを高くし、早期発見と対応に努めていきます。ご家庭でもお気づきの点がありましたら早めにお知らせください。また、「あいさつ」については、日常の指導や道徳、特別活動等で今後も継続して指導してまいります。ご家庭でも家庭内や地域での挨拶等、学校と連携してお取り組みいただけたら幸いです。

最後に自由記述欄には、たくさんの励ましをいただきありがとうございました。運動会についても半日の開催ではありましたが、高評価をいただきました。今回のアンケートをもとに、子供たちが楽しく笑顔で登校できる学校を目指し、全職員で取り組んで参ります。



通知表は子どもを励ますきっかけです!!

30日（金）に通知表を渡します。今年度に限り、前期、後期の年間2回の配布となります。学習の記録の欄には、各教科3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）で評価をしています。また、所見欄には、担任の気づき等を記入しています。

通知表をひとつのきっかけとして、学校生活についてお子さんと会話を交わす機会としていただき、良さを認め、励ましていただければ幸いです。

